

目 次

	頁 (項)
序	
A. 緒 論	1 (1)
放射線防護における測定の機能	1 (3)
モニタリングの原則	2 (4)
B. 委員会の勧告.....	4 (8)
作業条件の区分による個人の被曝	4 (9)
体内被曝と体外被曝の加算	5 (11)
誘導限度および認定限度	7 (14)
誘導限度	7 (15)
認定限度	9 (16)
参考レベル	9 (17)
記録レベル	9 (18)
調査レベル	10 (21)
介入レベル	12 (24)
記録の保存	12 (26)
C. モニタリングの機能	15 (31)
作業場所のモニタリング	15 (32)
日常モニタリング	15 (32)
作業モニタリング	15 (33)
特殊モニタリング	16 (34)
個人モニタリング	16 (35)
日常モニタリング	17 (36)
作業モニタリング	17 (37)

(iv)

特殊モニタリング	17	(38)
作業場所の状況評価における		
個人モニタリング結果の利用	18	(39)
モニタリング結果の解釈におけるモデルの適用	18	(40)
モニタリングの補足的機能	18	(42)
モニタリングプログラムの再評価	18	(42)
管理区域	19	(43)
医学的監督	19	(44)
D. 体外放射線に関する作業場所のモニタリング	20	(45)
モニタリングプログラムの計画	20	(45)
日常モニタリング	20	(46)
作業モニタリング	21	(48)
結果の解釈	22	(50)
E. 表面汚染に関する作業場所のモニタリング	24	(54)
主要な目的	24	(54)
モニタリングプログラムの計画	25	(56)
結果の解釈と記録	26	(61)
F. 空気汚染に関するモニタリング	28	(64)
モニタリングプログラムの計画	28	(65)
結果の解釈	30	(70)
作業調査の使用	30	(71)
エリアサンプラの使用	31	(72)
個人サンプラの使用	32	(75)
粒度測定	34	(77)
G. 体外放射線に関する個人モニタリング	35	(78)
モニタリングプログラムの計画	35	(79)
サービスの規模	35	(79)
線量計の基本的要件	37	(83)

線量計の着用部位	37	(84)
β 線, γ 線およびX線用線量計の選択と形式	38	(85)
中性子に関するモニタリング	39	(87)
個人線量計を用いた作業モニタリング	41	(90)
事故時被曝の特殊モニタリング	41	(92)
結果の解釈	44	(98)
日常モニタリング	46	(105)
日常モニタリングにおいて要求される正確さ	47	(109)
事故時被曝のモニタリング	47	(110)
H. 皮膚汚染に関するモニタリング	50	(112)
I. 体内汚染に関する個人モニタリング	51	(113)
モニタリングプログラムの計画	51	(113)
サービスの規模	51	(113)
特殊モニタリング	52	(114)
モニタリング方法の選択	52	(116)
日常測定の種類	53	(117)
結果の解釈	54	(119)
日常モニタリング	54	(120)
体内汚染に関する日常モニタリングにおいて		
要求される正確さ	56	(123)
特殊モニタリング	56	(124)
J. 品質保証	58	(125)
K. 用語の説明	60	(129)
参考文献	63	
付録 A 体外放射線に関する個人モニタリングのための		
作業者抽出基準	65	
低放射能の線源	66	
γ 線源からの全身照射	66	

(vi)

γ 線源による手の照射	66
β 線源による照射	66
β/γ 放出体について示唆される限度	67
中性子線源	68
X線および γ 線によるラジオグラフィ装置と 蛍光透視装置（医療用および工業用）	68
X線および γ 線による放射線治療装置	68
付録 B 体内汚染に関する個人モニタリングのための 作業員抽出基準	70

